

毎朝の迷惑メール処理でお困りのみなさま

WEXAL[®]ポリシーメールサーバで、毎朝30分の迷惑メール処理を1分に。
朝イチから仕事に集中できるようにしませんか？

平均98%超の迷惑メールカット率と、確かな受信・確かな送信

WEXAL[®]ポリシーメールサーバ

迷惑メールによる時間ロスを大幅に改善できる、中堅中小企業向けメールサーバホスティングサービス

「WEXAL[®]ポリシーメールサーバ」は、迷惑メールを極限までカットし、正常メールは確実に受信し確実に送信するために設計・構築された、中堅中小企業向けメールサーバホスティングサービスです。

WEXAL policy mail server

Point 1

迷惑メールを
98%超まで
排除可能

Point 2

受信の不着は
1/10,000
以下

Point 3

暗号化通信と
認証で二重の
セキュリティ対策

Point 4

アカウント管理
はWebブラウザ
で簡単に

Point 5

IMAPもデータ
バックアップで
安心活用

Prime Strategy



迷惑メールによる時間ロスを大幅に改善できる、中堅中小企業向けメールサーバホスティングサービス WEXAL® ポリシーメールサーバ

毎日出社してから30分は
スパムメールの削除に時間
を使ってるよ。

ウィルスメールが大量に来
るし、セキュリティが心配
だよ。

迷惑メールの大量処理、コスト流失…

日々の迷惑メール処理は、企業における時間・コストの大きな流失原因の一つ。仮に迷惑メール処理を1日30分間行っているとすると、1ヶ月で約10時間程度に。

せっかく送ったメール。
後で確認してみたら、どう
やら相手に届いていなかっ
たらしい。

1日に何件の迷惑メールを 処理していますか？

あきらめかけていたメール問題も、
WEXAL® ポリシーメールサーバな
ら解決できるかもしれません。

送信したのに相手へ届かない…

たとえばお使いのメールサーバが共用で御社専用IPが割り振られない場合、他社の影響で共用サーバ全体がブラックリストに掲載されているおそれがあります。そうすると確実な送信は困難です。

メールの追加削除や転送設
定は、社内で自由にできた
らいいんだけどな。

うまく受信できない…

お使いのメールサーバが、正常なメールを迷惑メール扱いしている可能性はありませんか？適切なリストを用いて迷惑メール処理を行っていないと、正常なのに受信できないことも。

送ってもらったはずなのに
こちらへうまく届かないこ
とが、時々あるんだ。

アカウント管理や転送設定の煩雑さ…

メールアドレスが増減するたびに面倒な手続きが必要だと、自ずと不必要なメールや無駄な転送設定がたまっていくもの。ウィルスやスパムの温床になることも少なくはありません。

Prime Strategy

WEXAL[®] ポリシーメールサーバの、3つの特長

1. 迷惑メールは平均98%超カット。正常メールは確実に受信

4重のフィルタ構造で、「迷惑メールの排除・捕捉」98%超と「正常メールの確実な受信」99.99%超のベストバランス。

「ポリシーフィルタ」「自動フィルタ」「ウィルススキャン」「ベイジアンフィルタ」の4重構造を通して受信。迷惑メールは平均98%超まで(学習により99.9%まで可能)排除・捕捉しつつ、正常メールは平均99.99%程度(実績では99.999%)まで確実に受信できる、ベストバランスの仕様です。

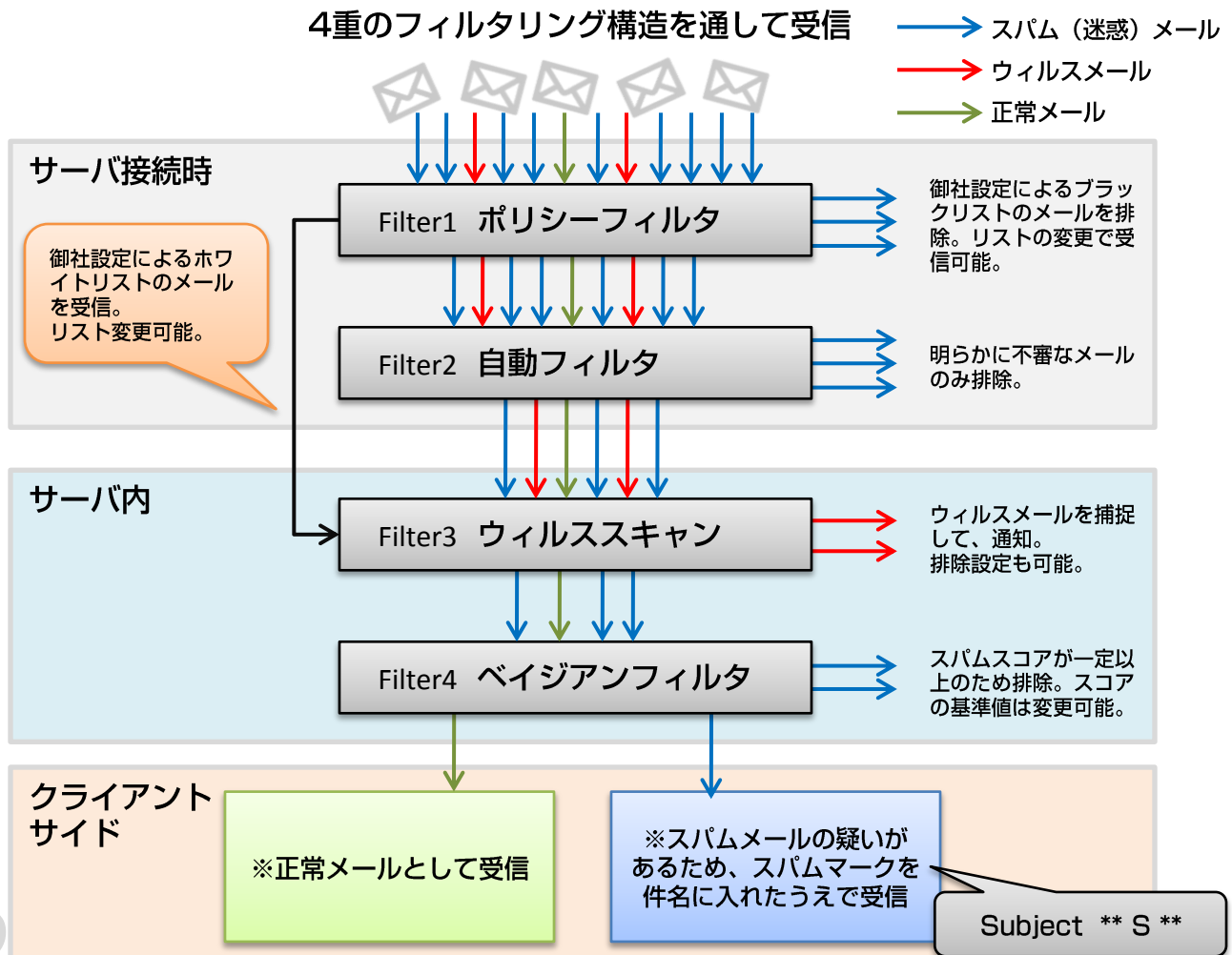
・ポリシーフィルタは御社専用。必要なメールは接続時に確実に振り分け

ブラックリスト・ホワイトリストの設定が御社で自由に行える「ポリシーフィルタ」。メールサーバへの接続要求時点で「必要なメール」と「不要なメール」を確実に振り分けます。もしも間違えてブラックリスト登録をしても、簡単に変更できるため安心です。

・ブラックリストをあえて使わない自動フィルタ。受信の不達は事実上ゼロに限りなく近い

ブラックリストを用いたフィルタリングでは、一般的には外部のブラックリストを使用します。このブラックリストの内容は公開されていないためどこがリストアップされているかわかりません。たとえば得意先などが間違えて、あるいは悪意でブラックリストに登録され、そのブラックリストを使用する場合には、得意先からのメールを受信できなくなります。

WEXAL[®]ポリシーメールサーバの自動フィルタではあえてブラックリストを使いません。これにより必要なメールを誤って排除してしまう確率を10万分の1以下にまでとどめています。



WEXAL®ポリシーメールサーバの、3つの特長

自動フィルタで採用しているのは「グレイリスト方式」。不審なメールのスパム判定には「チャレンジテスト」を用います。自動処理のため判定の揺れが少なく、スパムサーバの特質を使用しているため精度が高く、「明らかに不審」なメールだけを排除するものです。

接続要求してきたメールサーバのうち97%程度の確率で統計的にスパムサーバではないかと考え得る不審なサーバに対してのみ、「待て」と「一定時間の経過後に再送信せよ」の2種類のメッセージを伝えます（不審だからとすぐには排除せず、救済の機会を設けているところも特長です）。ところが、スパムサーバはこちらの要求に従いません。スパムサーバの目的は「とにかく大量の送信を行う」ことで、相手側からの細かな要求をあえて無視し、自分自身に負荷をかけないようにつくりになっているのです。しびれを切らして待つことなく、あるいは一定時間を経過せずに再送信されてきたスパムサーバからのメールは「明らかに不審なメール」としてここで排除されます。

なお応答によるテストのため、「不審なメール」と判断されたメールについては、初期段階においてのみ多少の遅延（応答待機の時間分。2分半から長いときは数時間）が生じます。「今送りました」といわれたメールがもしもすぐにごなかったとしたら、応答テストに応じているものとお考えください。フィルタをいったん通過するとホワイトリストに入り（一定期間）、次回からは遅延しません。ポリシーフィルタのホワイトリストに登録すれば遅延は一切なくなります。

・接続時のフィルタリングでサーバの負荷を軽減

通常のフィルタリングはサーバで受信した段階で行われますが、WEXAL®ポリシーメールサーバでは接続時とサーバ内の両方で、4回に分けたフィルタリングを行います。従来は大量のスパムメールをすべてサーバが受信して次々にさばかなければならず、負荷も相当なものでした。（サーバで受信する一歩手前の）接続時に最初の処理が行われることで、サーバの負荷は大幅に軽減され、より安定した稼働状況を保てるようになりました。

・サーバ内のウイルスチェックでウイルスの蔓延を予防

WEXAL®ポリシーメールサーバのウイルスフィルタがウイルスの蔓延をしっかり予防。捕捉したウイルスの情報について指定メールアドレスへ通知メールが送信されます。

・スパム判定でさらに選別、最終的に受信するのは、正常なメールと「ほぼ正常」なメールのみ

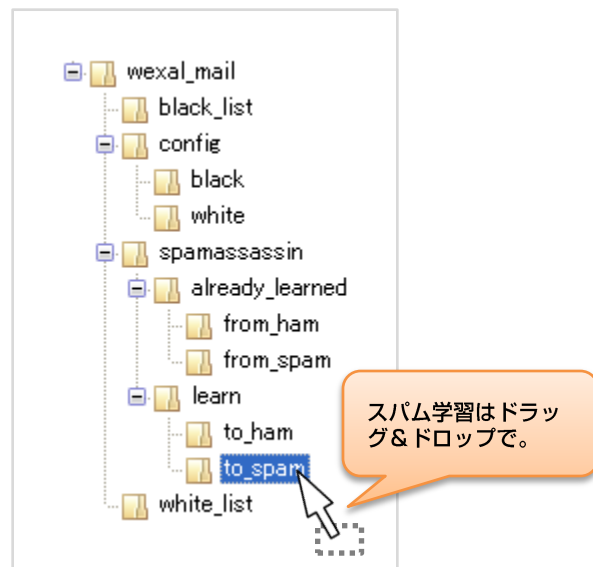
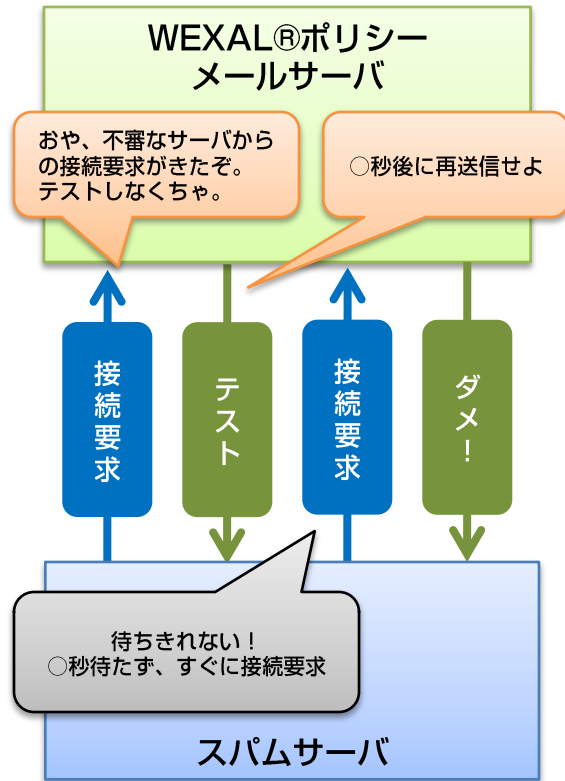
メール全体がベイジアンフィルタ（過去のデータ等から解析・学習するフィルタ。学習量が増えるほど精度が向上）にかけられてスパムスコアがつき、「排除レベル」と「捕捉・受信レベル」の2段階で判定されます。スパムスコアが高いと「排除レベル」でふるいにかけられ、受信には至りません。スパムスコアが低くても一定値以上の場合には、「ほぼ正常だがスパムの疑いあり」として、件名にスパムマーク、ヘッダにスパムスコアが付加された状態で受信します。いずれの基準値も簡単に変更が可能です。

件名に追記されるスパムマークを使って、お使いのメーラーに付属しているフィルタ機能（メール自動振り分け機能）を設定してみてはいかがでしょうか。迷惑メール処理を簡単に、さらに適切に行うことができます。（メールソフトの対応状況によります）

・各フィルタのカスタマイズは、メールソフト上からドラッグ&ドロップ等で簡単に

各フィルタの設定は、ご契約時には一般企業用途として広くお使いいただける仕様となっています。WEXAL®ポリシーメールサーバの導入後、便利さを実感いただいたタイミングで、ぜひ御社用にカスタマイズを。各フィルタ設定のカスタマイズは、お使いのメールソフト上から簡単に行えます。フィルタリング機能に学習をさせて、より使いやすい御社オリジナルメールサーバへと成長させてみてはいかがでしょうか。

チャレンジテスト



WEXAL[®]ポリシーメールサーバの、3つの特長

「送信不着問題」の原因が根本から排除されます。

メールが相手に届かない場合に考えられる、送信側の問題点の一つは、送信側がブラックリストに登録されているのではないかとことです。

たとえば共用メールサーバでは、通常、専用のIPは割り当てられません。同居している他社が、もしもスパムメールを送信してどこかのブラックリストに登録されてしまうと、それはすなわちメールサーバ全体がブラックリストに掲載されることになり、送ったメールが相手に届かない「送信不着問題」が発生するようになります。ブラックリストからIPを救い出すことは事実上困難を極めます。

WEXAL[®]ポリシーメールサーバでは、標準でIPが割り当てられます。そのため、共用メールサーバには非常に多い送信不着問題がほとんど生じません。

また送信不着の一般的な原因としては、メールサーバのDNS設定でSenderIDが使用されていない、IPの逆引き設定がされていない、標準的なメールサーバの基準に合致していない、誤配率が高いのに放置している、等の問題が考えられます。もちろんWEXAL[®]ポリシーメールサーバでは、そうした問題は生じないよう対策が施されています。

暗号化通信と認証システムに守られた、高セキュリティ通信です。

通常のメールでは、メール本体からパスワード等の重要情報までのすべてが、そのままの状態(「平文(ひらぶん)」)でインターネット上を流れます。いつパスワードを盗まれてもおかしくない、少々心配な状態です。

WEXAL[®]ポリシーメールサーバでは、暗号化通信の仕組みであるTLS(SSL)の設定が可能です。この設定により、メールソフトとWEXAL[®]ポリシーメールサーバ間では、すべての情報が暗号化された状態でインターネット上を流れます。

また受信の際は当然ですが、送信の際にも、認証を必須(SMTP-AUTH)とする設定になっています。認証自体についても、パスワードも含めた暗号化の設定が可能です。

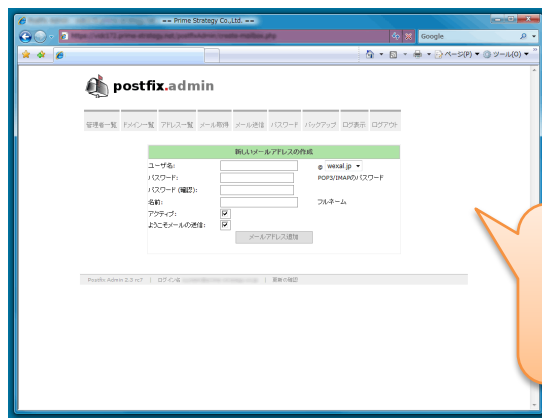
つまり接続自体が暗号化された中で、さらに暗号化された認証が行われるという「二重の暗号化通信」で、高いセキュリティを確保することができます。(メールソフトの対応状況によります)

2. メールアドレス管理は楽々簡単操作

ブラウザ上からメールアドレスを作成・管理できます。

データベース「MySQL」とサーバ管理機能「postfixAdmin」を用いています。そのため、Webブラウザさえあれば、ドメイン追加やアカウント設定、転送設定などを、御社内で簡単に、いつでもどこからでも行うことができます。

設定画面はSSL対応(暗号化)、特定IPのみに制限することも可能なのでセキュリティの点でも安心です。



アドレスの追加や転送先の追加等を簡単に行えます。アクセス制限などもご相談いただけます。

WEXAL[®] ポリシーメールサーバの、3つの特長

3. 堅牢なデータセンター内に設置した、御社専用の仮想専用サーバ (VPS) 上で運用

仮想サーバ上での運用はメリット大

・他社からの影響を受けにくい

WEXAL[®]ポリシーメールサーバでは標準でIPが割り当てられるため、共用メールサーバ等で非常に多い送信不着問題がほとんど生じません。他メールサーバからの影響もほとんど受けません。

・物理サーバと比較して拡張が非常に容易

サーバを停止させることもなく、かつ、ご依頼を受けてから最短で10分程度でハードディスク容量を増やすことも可能です。仮想サーバの方が圧倒的にコストと時間の浪費を減らすことができます。

・「サーバまるごと」「バックアップ専用サーバへ」「無停止で」のバックアップが可能

メールサーバ内ではシステムが複雑にからみあって稼働しています。万一の復旧時に、たとえファイルだけを戻しても、システムが適切に設定されなければ、元通りには稼働しません。

WEXAL[®]ポリシーメールサーバのバックアップなら、サーバ丸ごとを物理的に独立したバックアップ専用サーバへバックアップできるため、完全な状態へ復旧することも可能です。無停止でのバックアップも選択できるので、時間的な不整合、ひいては事業機会の損失を極力防ぐことができます。

たとえばサーバ上でメールのデータを管理する「IMAP」は、POPとは異なりメールをどこからでも見られる点で大変便利ですが、一般には人為的な操作ミスその他によるデータの損失が心配の種となります。バックアップのタイミングにより、かなりの程度までメールを復旧できるので、これからは安心してご活用いただけます。

セキュリティ、パフォーマンスも最適にチューニング
高度なセキュリティが要求されるWebサーバ構築技術ノウハウに基づくセキュリティ確保とチューニングを行っています。たとえばサーバを直接制御することができるSSHや、その他サーバに入り込まれやすいポートは、ファイヤーウォールによって必要最小限しか開かない設定となっています。

信頼性・安定性の観点から選択した国産サーバ
メールサーバは常に高稼働状態にあります。そこで信頼性・安定性の観点から国産サーバ(NEC)を選択しました。メールを保管しておくためのHDD容量やメモリ容量も潤沢に必要となります。ご要望にお応えできるよう十分なスペックを準備しております。

またIMAPを利用する場合には、POPと異なり数倍程度のスペックが必要となります。メモリスペックも十分に対応できる1.5GBと2GBのタイプをご用意しています。

RAID1+HotSpare1でハードディスクを冗長化
物理サーバは、RAID1+HotSpare1のハードディスク冗長化構成です。不意のハードディスク故障時にもサーバを動かし続けることができ、さらに故障したハードディスクを取り除き正常な状態に戻すまでの間、安定した稼働を得られます。

堅固なデータセンターでサーバを管理
24時間365日無停電、常時一定を保つ空調、強度の耐震性、3重のセキュリティ等、最新設備の整った都内屈指のデータセンター内で御社のメールサーバを管理します。

HDD容量も追加可能です。

メールデータ
メールシステム
OS
ハードウェア構成

仮想環境プラットフォーム

Linux OS

運用サーバ

サーバまるごとを、独立した別のサーバへ遠隔バックアップ。
これならIMAPのご利用も安心です。

bkup bkup bkup bkup
bkup bkup bkup bkup
bkup bkup bkup bkup

バックアップ専用サーバ

※24時間365日無停電、一定温度を保つ空調、3重のセキュリティで守られた日本屈指の都内データセンターで運用されています。

WEXAL® ポリシーメールサーバ 各種プランの基本サービス

各プランの内容は以下の通りです。Standardプラン以上のスペックや専用物理サーバでの運用等のカスタマイズに関しては別途ご相談ください。その他ご不明な点、内容の詳細についてはお気軽にスタッフまでご相談ください。

(※印はオプションです。オプションの詳細は次項「WEXAL®ポリシーメールサーバ各種プランのオプションサービス」をご参照ください。)

プラン	Standard	Basic	Lite	SOHO
初期費用	100,000円(税込105,000円)			
月額費用	50,000円(税込52,500円)	30,000円(税込31,500円)	18,000円(税込18,900円)	9,000円(税込9,450円)
ポリシー ※	※スパムフィルタ・パッケージ(ポリシーフィルタ + 自動フィルタ + ペイジアンフィルタ)および、ウイルスフィルタを利用可能			自動フィルタのみ利用可能
アカウント管理機能	Web上からドメイン追加、アカウント追加、転送設定等を行うことができます。※ドメインの追加に際しては、お客様側または弊社側でDNSの設定が必要となります。		Web上からアカウント追加、転送設定等(ドメイン追加をのぞく)のみを行うことができます。	-
HDD容量 / メールボックス最大容量	80GB / 最大約75GB	40GB / 最大約35GB	20GB / 最大約15GB	10GB / 最大約5GB
最大アカウント数 (POP使用時)	制限なし ※メールボックス容量等により200アカウント程度までを推奨します。	100アカウント	50アカウント	10アカウント
※上記「最大アカウント数」はPOPをご利用の場合です。 ※通常、IMAPはPOPより数倍以上の負荷がかかるため、IMAPを主要用途とお考えの場合は、1段階上位のプランをお選びください。				
利用可能な受信サーバ	POP とIMAPの両方を選択可能		POPのみ	
メモリ	2GB	1.5GB	1GB	512MB
ドメイン ※	複数ドメインの設定が可能		単一ドメインのみ設定可能	
IP	1 IP	1 IP	1 IP	1 IP
CPU	2コア共有	1コア共有	1コア共有	1コア共有
Intel Xeon 2.33GHz Quad-Core × 2				
TLS(SSL)利用 ※	利用可能			
1通の送受信可能容量	20MB ※ただしご契約時のお打ち合わせにて変更可能		20MB	
メールボックス1アカウントの容量上限	1アカウントの上限：1GBまで ※ただしご契約時のお打ち合わせにて変更可能		1アカウントの上限：1GBまで	
※なおHDD容量を上回ることではできません。				
サポート	平日9:00-18:00 (お電話にて対応いたします)			
サーバ構成	メールサーバ特別仕様 ※東京都内データセンター(24時間365日無停電・耐震設備・3重のセキュリティ)で管理			
HDD構成	RAID1 (HDD × 2)+HotSpare(HDD × 1)による3重の冗長構成			
仮想化基盤	VMware Server 2			
OS	CentOS 5.3 64bit (Linux)			
提供形態	仮想専用サーバ(VPS)			
SMTPサーバ	Postfix			
POP/IMAPサーバ	Dovecot			
バックアップ	「サーバまるごと」を「バックアップ専用サーバへ」「無停止で」のバックアップサービスが利用可能。 ※プランによりご利用可能なサービスが異なります。詳細は別紙資料「WEXAL®サーバまるごと安心バックアップ」をご参照ください。 ※特にIMAPをご利用の場合には、バックアップサービスのご利用を推奨いたします。			

WEXAL[®]ポリシーメールサーバ各種プランのオプションサービス

プラン		Standard	Basic	Lite	SOHO
スパム フィルタ	自動 フィルタ	スпамフィルタ・パッケージ(自動フィルタ + ポリシーフィルタ + ベイジアンフィルタ)をご利用いただけます。 1アカウントにつき300円(税込315円) / 月 ※10アカウント単位でのご契約となります。 ※実際にご利用のアカウント数に応じたご契約が必要となります。 ※アカウントに増減が生じた場合には翌月分からの変更となります。			1アカウントにつき300円(税込315円) / 月 ※10アカウント単位でのご契約となります。
	ポリシー フィルタ				-
	ベイジアン フィルタ				-
ウィルスフィルタ		1アカウントにつき200円(税込210円) / 月 ※10アカウント単位でのご契約となります。 ※実際にご利用のアカウント数に応じたご契約が必要となります。 ※アカウントに増減が生じた場合には翌月分からの変更となります。			-
弊社へのアカウント 追加変更等のご依頼		※Lite以上のプランではアカウント管理機能をご利用いただけます。 ※初期ご契約時のメールアドレスの設定は無料で承ります。ご利用開始後の追加変更を弊社へご依頼の場合には、ご利用アドレス上限までの範囲内で、1回につき1アドレス5,000円(税込5,250円)、5アドレス以上は一律25,000円(税込26,250円)にて承ります。			
HDD容量の追加		1GBあたり500円(税込525円) / 月 ※10GB単位でのご契約となります。			-
ドメイン取得代行・管理 (1ドメインにつき)		【.co.jp】15,000円(税込15,750円) / 年 【.jp】7,500円(税込7,875円) / 年 【.com .net .org .info】3,000円(税込3,150円) / 年 ※その他お問い合わせください。			
TLS(SSL)取得 ・設定・管理 (1ドメインにつき)		1ドメインにつき 20,000円(税込21,500円)~300,000円(税込315,000円) / 年 ※証明書の種類(VeriSign、セコムその他)等により異なります。			

※ サービス内容等は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



プライム・ストラテジー 株式会社
〒105-0022
東京都港区海岸1-2-20 汐留ビルディング 3F

こちらまでお気軽にご相談ください。



お問い合わせ・お見積もり専用ダイヤル
TEL. 03-5776-0406

※受付時間 8:45~18:00 (月~金、祝日)
メール : staff@prime-strategy.co.jp
URL : <http://www.web-strategy.jp>
FAX : 03 - 5776 - 0439